

VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、
奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

ここまで良くなりました

(仮称)奈良県立工科大学の設置に向けた検討を開始しました。

奈良県立大学の教育環境の充実を進めています。

OR4年1月に有識者会議を立ち上げ、計4回にわたり専門家から意見聴取
OR4年11月から、具体的な研究・教育分野等の検討を開始

ORクラブハウスの整備、(仮称)教育研究棟の設計を開始
OR4年4月 奈良県立大学附属高等学校 開校



有識者による検討の様子



県立大学附属高等学校 第1回入学式

もっと良くするために

(仮称)奈良県立工科大学の設置に向けた検討を推進します。

奈良県立大学の教育環境及び高大接続の充実を進めます。

OR有識者の意見を踏まえ、研究・教育分野、教員組織体制、教員確保等の検討

OR奈良県立大学で様々な業務運営を実施

OR地域社会の教育ニーズや、企業等の人材確保及び技術支援に関するニーズの調査

OR少数対話型教育(コモンズ制)により、地域に貢献できる優れた人材を育成
OR7年度からの附属高校特別推薦生の受入を見据えた教育体制の検討

OR県内の既存施設等を活用し、大学院のキャンパス候補地の確保

OR県立大学及び附属高等学校の就学支援

OR※R8年度を目途に大学院を先行設置し、三宅町に整備予定の新キャンパスにおいて学部を併設(R13年度目途)

ORクラブハウスや(仮称)教育研究棟の施設整備



<イメージ> 三宅町に整備予定の新キャンパス



クラブハウス



(仮称)教育研究棟

令和5年度予算案 1,081百万円

1. (仮称)奈良県立工科大学の設置に向けた検討(32,769千円)

(1)大学の設置に向けた有識者会議(20,440千円)

①大学構想の実現に向けた**研究教育分野、教員組織体制等の具体的な検討**

(2)大学設置認可申請に向けた検討(12,329千円)

②**R8年度の大学院先行設置を目指し、地域の教育ニーズや地元企業の人材確保・育成ニーズ等を調査**



<イメージ>三宅町に整備予定の新キャンパス

2. 奈良県立大学及び附属高校の教育環境充実(1,048,479千円)

(1)第2期中期目標達成に向けた取組の支援(791,104千円)

③運営費交付金

・大学の業務運営に必要な経費の財源に充てるための交付金

④中期目標関連補助金

・中期目標達成のため実施する事業に対し補助

目標項目：教育、研究、地域連携、国際交流、法人運営



奈良県立大学附属高等学校(令和4年4月開校)

(2)県立大学及び附属高校の就学支援支援(97,909千円)

⑤県立大学授業料・入学金の減免に対し補助

⑥附属高等学校就学支援金を支給

(3)県立大学の施設整備(159,466千円)

⑦**クラブハウス棟の建築**

⑧**(仮称)教育研究棟の基本・実施設計**



<イメージ>奈良県立大学クラブハウス棟

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 教育振興課 市川課長補佐(内線2576)

VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興

(67) 県立医大教育の充実 県立医大教育将来像の深化

R5 予算案 5,313,441千円

ここまで良くなってきました

令和元年度から6年間の第3期中期目標・中期計画を定め、**医大の改革**をさらに進めてきています。

奈良県立医科大学の将来像(教育分野の理念)

豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心と、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成

(医大への期待)高度医療、急性期医療から慢性疾患に対応

○最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」を育成(「心・知・技」を併せ持つ人材を育成)

○県内基幹病院として、地域医療の充実へ貢献

高度医療	<ul style="list-style-type: none"> 高度医療における患者の理解と、自己選択を促すコミュニケーションを習得する学習 臨床研究中核病院の認定取得 質の高いがん治療実施比率の向上 	
急性期医療	<ul style="list-style-type: none"> 急性期医療における患者の理解と受容を促すコミュニケーションを習得する学習 特定行為研修を修了した看護師数の増加 ER型救急医療体制の確立 災害医療チームの育成 	
慢性疾患	<ul style="list-style-type: none"> 患者に寄り添うコミュニケーション学習 特定行為研修を修了した看護師数の増加 総合診療科に在宅医療部門設立 	

もっと良くなるために

第3期中期目標・中期計画の進捗管理を行い、第3期中期目標達成に向けた**取組・運営に対する支援**を行うとともに、第4期中期目標の策定に向け検討を進めます。

○**県による第3期中期目標・中期計画の進捗管理**
「医大の将来像実現推進会議」を年に複数回開催し、県立医科大学のPDCAマネジメントサイクルを推進

○**第3期中期目標達成に向けた取組と運営に対する支援**
県立医科大学の第3期中期目標達成に向けた取組と大学・病院の運営に要する経費に対し、運営費交付金及び中期目標達成促進補助金等を交付

【**運営費交付金**】
医師・看護師の養成等業務運営に必要な経費の財源に充てるため、県立医科大学に対し運営費交付金を交付

【**中期目標達成促進補助金**】
第3期中期目標の達成に向け、県が重点的に促進する県立医科大学の取組に対し補助(主な対象経費)、心の教育を実現するための講座(「医師・患者関係学講座」)の運営経費・奈良学・在宅医療学の運営経費等

○**第4期中期目標の策定に向けた検討**
県立医科大学の第4期中期目標策定に向け、第3期中期目標の実績分析等を実施

令和5年度予算案 5,313百万円



最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」の育成、県内基幹病院として地域医療の充実へ貢献

(1) 県による第3期中期目標・中期計画の進捗管理(1,400千円)

「**医大の将来像実現推進会議**」を開催し、**県立医科大学のPDCAマネジメントサイクルを推進**

(2) 第3期中期目標達成に向けた取組と運営に対する支援(5,312,041千円)

県立医科大学の第3期中期目標達成に向けた取組と大学・病院の運営に要する経費に対し、**運営費交付金、中期目標達成促進補助金等**を交付

- ・医師・看護師の養成等、医大の業務運営に必要な経費
- ・心の教育を実現するための講座の運営経費
- ・奈良学・在宅医療学の運営経費 など



医大での臨床手技実習の様子

5つの柱立てのもと、中期目標を設定

地域貢献	教育	研究	診療	法人運営
【教育】 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域に貢献する医療人の確保と質の向上 【研究】 <ul style="list-style-type: none"> ● 県民の健康増進への貢献 【診察】 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の医療機関との連携・機能分担の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最善の医療に貢献する最先端の研究の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全で安心できる最善の医療の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能で安定的な法人運営
【教育】 <ul style="list-style-type: none"> ● 医師・看護師・保健師の県内定着 ● 医師の偏在・散財の解消 ● 看護師の質の向上 【研究】 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域に根ざし地域と歩む研究の推進 【診察】 <ul style="list-style-type: none"> ● 県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践 ● 病病連携・病診連携の推進 ● 各領域の担い手となる医療人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「心の教育」を軸とした良き医療人の育成 ● 教員の教育能力開発と教育全般に関する360度評価 ● 学生への支援の推進 ● 学習環境と教育環境の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最善の医療に貢献する最先端の研究の実施 ● 横連携・他分野連携の推進 ● 研究推進体制の適正化と強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県内基幹病院としての機能の充実 ● 患者満足の一層の向上 ● 安全な医療体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ● ガバナンス体制の確立 ● 医療費適正化の推進とそれを支える費用構造改革の徹底による持続可能な経営基盤の確立 ● 働き方改革の推進

<問い合わせ先> 医療政策局 病院マネジメント課 吉川課長補佐(内線3162)

VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興 (68) 県と大学との連携強化

R5 予算案 53,300千円

ここまで良くなりました

令和4年6月に奈良先端科学技術大学院大学との包括連携に関する基本協定を締結しました。

大学との連携を進めており、令和6年度に100件にするという目標に対し、令和4年度は県全体で大学との連携事業数は86件となりました。

奈良県 奈良先端科学技術大学院大学 連携に関する基本協定締結

○早稲田大学(H20~)及び近畿大学(H28~)とは、包括的な連携協定に基づき、今までに72件の事業を実施

○奈良県版シュタットベルケ創生に向けた可能性検討事業

○奈良っ子食育プロジェクト



奈良先端科学技術大学院大学との協定締結

県民について学ぶ

もっと良くするために

大学の高度な知的資源を活用し、県政の様々な課題への対応策を検討・実施するため、早稲田大学・近畿大学・奈良先端科学技術大学院大学と連携した事業を展開します。

奈良県

研究データ
フィールド
ワンストップ窓口
連携担当部署

地域課題の解決に資する
連携事業・共同研究

知的
資源

連携大学

ワンストップ窓口
連携担当部署

○なら歴史芸術文化村幼児向けプログラムと連動した食育プログラム事業



親子食育プログラム

○デジタルデバйд対策事業



プログラミング教室

○奈良式柿タンニンの品質安定化・評価技術の開発



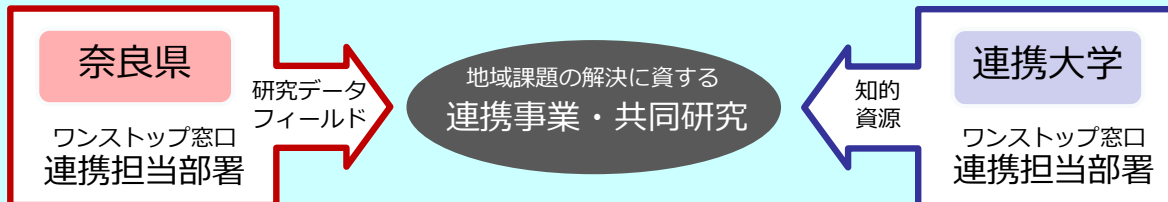
柿タンニン粉末

奈良県教育振興大綱を推進するため、県内の国公私立大学・短期大学への研究や私立専修学校の地域と連携した取組への支援を行います。

令和5年度予算案 53百万円

1. 大学との連携推進 (18,000千円)

<事業スキーム>



- ① 早稲田大学・近畿大学との連携事業
 - ・地域コミュニティによる土地の利用・管理の検討モデル構築事業
 - ・なら歴史芸術文化村幼児向けプログラムと連動した食育プログラム事業 ほか
- ② **新** 奈良先端科学技術大学院大学との連携事業
 - ・奈良式柿タンニンの品質安定化・評価技術の開発 ほか



柿タンニンの品質安定化・評価技術の開発

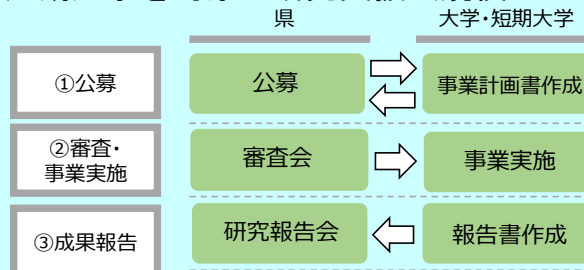


デジタルデバйд対策事業

2. **新** 奈良県における教育振興のための研究支援 (35,300千円)

- ③ 国公私立大学・短期大学を対象に研究支援 (規模: 3年間1億円想定)

<補助スキーム>



県の教育課題の解決に資する研究を県内大学・短期大学から公募

- ④ 専修学校が実施する教育振興大綱の推進に資する取組を支援

<問い合わせ先>
文化・教育・くらし創造部 教育振興課 池田課長補佐(内線2520)

VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興 (69) 高校生年代の学びとはぐくみ

R5 予算案 6,157,818千円
R4・2月補正予算案 54,268千円

ここまで良くなってきました

特色ある学校の創出と、学職接続を意識したキャリア教育の充実を図ってきました。

R2年度：奈良北高校数理情報科
奈良先端科学技術大学院大学との連携協定に基づく取組の拡大
R3年度：奈良商工高校、高円芸術高校、商業高校、奈良南高校が開校
芸術や実業・起業家教育の充実
R4年度：宇陀高校が開校
福祉・情報教育の充実



○高校2年生を対象とした合同企業説明会の開催
○県内高校生を対象としたスタートアッププロジェクト事業の実施
○県内高校でインターンシップコーディネーター等の継続配置、推進校・受入企業の拡大

地域社会で即戦力となる職業人材の育成等、実学教育の充実に取り組んできました。

○「専攻科」の設置

宇陀高校：介護福祉士、奈良県版ラヒオイタヤの育成
奈良南高校：2級建築士、2級土木施工管理技士、測量士補の育成



○企業と連携した人材育成プログラムを実施
○企業実習を通して、知識や技術を身に付ける「奈良県版デュアルシステム」を実施

もっと良くなるために

奈良で「学んでよし、働いてよし」を実現するため、高校生年代への包摂的な教育・支援施策を検討します。

○進路選択を支える教育・支援施策の連携・充実
○高校生年代を受け入れる学校等の多様化
○中途退学や進路未決定者への支援
○「学と職の接続・住還」の機能強化を図るため、実学教育を推進
○デジタル化が進んだ未来の社会を生き抜くための資質の育成



地域社会との連携を核とした人材育成の推進、実学教育の充実、「魅力と活力あるこれからの高校づくり」、キャリア教育の総合的な支援に引き続き取り組みます。

OR5年度に宇陀高校 専攻科にラヒオイタヤ科(総合福祉科)を新設
OR5年度に国際中学校開校
○高校2年生を対象とした合同企業説明会の継続開催
○県内高校生を対象としたスタートアッププロジェクト事業の継続開催



令和5年度予算案 6,158百万円 令和4年度2月補正予算案 54百万円

1. 実社会で生きる知識・技能を身に付ける教育の展開

(1,134,108千円、R4・2月補正 36,000千円)

- ① 高校生合同企業説明会・インターンシップ等キャリア教育の充実
- ② 県内高校生を対象としたスタートアッププロジェクト事業
- ③ 座学と企業実習による即戦力職業人材の育成
- ④ 「奈良県立学校施設長寿命化整備計画」に基づく県立学校の長寿命化整備等
- ⑤ 「県立高等学校適正化実施計画」に基づく県立学校適正化の推進



高校生合同企業説明会



高校生スタートアッププログラム



留学キャラバン隊in奈良

2. 「質の高い職業人」の育成(4,171,511千円、R4・2月補正 18,268千円)

- ⑥ なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)の運営
- ⑦ 高等技術専門校等での職業訓練
- ⑧ 看護師等修学資金の貸付や看護師等養成所の運営支援
- ⑨ 医科大学の運営支援等による看護師、医師等の養成
- ⑩ 県立高校こども・福祉科等での保育人材の養成
- ⑪ **新** 宇陀高校専攻科にラヒオイタヤ科(総合福祉科)を新設



宇陀高校こども・福祉科での実習

3. 奈良県の産業・地域を支える地域人材の育成(852,199千円)

- ⑫ 県立大学と附属高校との高度な高大接続を推進
- ⑬ フォレスターアカデミーの運営(**新** R5から市町村にフォレスター配置)

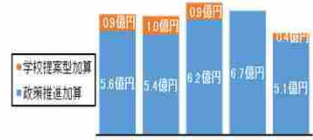
<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 ⑫教育振興課 市川課長補佐(内線2576)
こども・女性局 ⑩奈良っ子はぐくみ課 木戸協課長補佐(内線2885)
医療政策局 ⑧医師・看護師確保対策室 木村室長補佐(内線3191)
⑨病院マネジメント課 豊田課長補佐(内線3122)・吉川課長補佐(内線3162)
水循環・森林・景観環境部 ⑬森と人の共生推進課 西課長補佐(内線3942)
産業・観光・雇用振興部 ⑦雇用政策課 糸谷課長補佐(内線3571)
食と農の振興部 ⑥豊かな食と農の振興課 福永課長補佐(内線3818)
教育委員会 ①～③、⑤、⑪高校の特色づくり推進課 尾崎課長補佐(内線5251)、④学校支援課 岡方課長補佐(内線5281)

ここまで良くなりました

本県では私立学校の運営費に対し補助を行ってきました。私学教育の質の向上のため「政策推進助成制度(学校提案型加算、政策推進加算)」を導入し、特色のある取組に対し加算を行っています。

令和3年度より第2期教育振興大綱に合わせ、政策推進加算項目を見直しています。

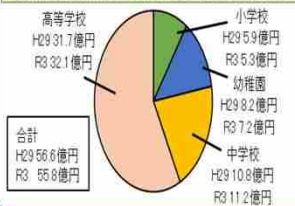


※R2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校提案型加算を中止



- 学校提案型加算…特色ある取組を学校が提案し、審査委員会で採択された場合に加算
- 政策推進加算…県が私学に求める項目について、具体的な取組を実施した場合に加算

各学校の生徒数や教職員数等に基づく運営費補助の割合

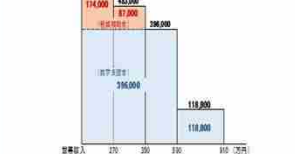


もっと良くするために

運営費補助や授業料等の軽減補助等の活用により、私学の教育の質の向上を図ります。

○公教育の一翼を担う私立学校に対し、教育条件の維持向上や、学校経営の健全性の向上を図るため、経常的な経費に対して補助(経常費補助)

○家庭の経済事情のために私立学校への進学を諦めることのないよう、学費負担者に対して授業料等を補助(R5年度より家計急変世帯も対象)



○その他、心身障害児の受入支援やスクールカウンセラーの配置支援等、様々な補助制度を活用

第2期教育振興大綱を推進するため、政策推進助成は引き続き、10%程度を維持し、取組件数の増加、取組内容の充実を図ります。

○政策推進加算項目のうち、就学前教育における体験活動や国際化教育の取組等を重点項目に設定、私立学校に周知し推進

○事例紹介や取組内容の事前相談を実施



オンライン国際交流

令和5年度予算案 9,699百万円

1. 私立学校に対する運営費補助(経常費補助)(6,319,385千円)

(1)私立学校の経常的な経費に対して補助

対象校：高等学校16校、中等教育学校1校、中学校10校、小学校6校、幼稚園27園

県の教育課題の解決に積極的に取り組む学校に対して補助額を加算し、各学校の特色のある取組を支援



障害児支援の取組



不登校生徒の学習機会確保



国際バカロレアの実践(研究発表)



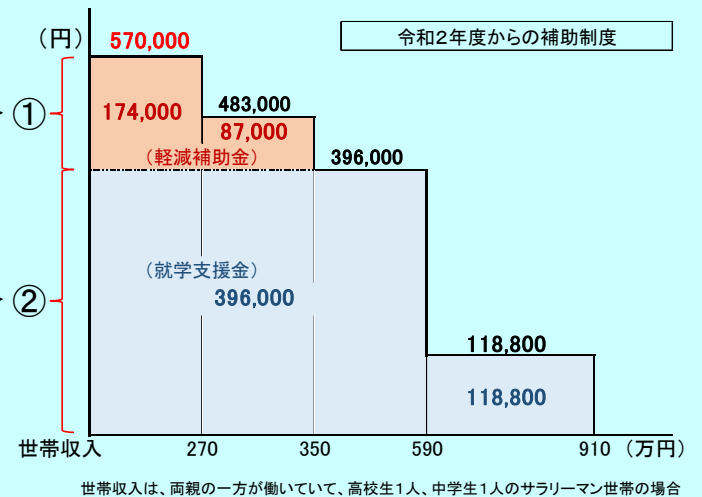
国際化推進(グループ討議)

2. 私立高校等授業料等に対する支援(3,379,611千円)

(1)経済事情のために進学を諦めることのないよう、私立学校に通う学費負担者に対して授業料等を補助(授業料・施設整備費等を合わせて最大57万円まで補助)

①私立高等学校授業料軽減補助金
県独自の補助金(最大17万4千円)を支給

②私立高等学校等就学支援金(国庫)
全国私立高校の平均授業料を勘案した水準(39万6千円)まで支援



世帯収入は、両親の一方が働いていて、高校生1人、中学生1人のサラリーマン世帯の場合

〈問い合わせ先〉
文化・教育・くらし創造部 教育振興課 池田課長補佐(内線2520)

VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興

(71) 教育ICTの推進

R5 予算案 154,443千円
R4・2月補正予算案 369,971千円

ここまで良くなってきました

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」において、**教員のICT活用指導力の状況の結果が、令和元年度以降大きく改善しました。**



※いずれのグラフも活用・指導できる、ややできると回答した教員の割合(%)

県域で包括的な教育ICT環境の改善 継続したICT活用指導力向上の取組

- OGIGAスクール運営支援センターを設置し、教員のICT活用を促進する環境を整備
- 県立学校の学びの質的転換を図るため、BYODによる1人1台端末と、電子黒板の活用を推進
- 教育の情報化を進める教員を育成するため、8回のオンライン研修を実施

もっと良くするために

本県の教育課題の解決を図るため、クラウドベースの情報通信技術を導入し、活用することで、**教育DXを推進**します。

県と市町村で連携した事業展開

- OGIGAスクール構想推進協議会の運営
⇒ 端末の**共同調達**や**情報交換**をします
- OGIGAスクール運営支援センターの活用
⇒ **ヘルプデスク**や**アカウント管理**をします

ICTを活用した教育の充実

- 電子黒板を活用した授業の実施
⇒ **双方向型の授業**に転換します



情報教育の充実と教員のICT活用指導力の向上

- 未来を生き抜く学びの改革
- 県立高校における情報科の学習環境整備
⇒ **教科「情報」の指導充実**を図ります

教育情報の電子化

- 県立学校校務用端末、校務支援システムの更新(保護者連携強化)
- 奈良県域統合型校務支援システムの市町村立学校への導入を支援
⇒ 業務を軽減し、**教員の働き方改革**を進めます



ICT機器等の維持管理

- クラウドを活用したネットワーク整備・運用
- 県立学校教育用端末等の保守・管理・整備
- 県立学校インターネット回線の運用
⇒ **クラウドを活用した高速の回線**を整備します

令和5年度予算案 154百万円
令和4年度2月補正予算案 370百万円

1. ①(新) 未来を生き抜く学びの改革推進 (6,500千円)

- ①(仮称)未来を生き抜く学びの改革推進会議
・デジタル化が進む将来社会を生き抜くための高校教育のあり方の検討
- ②モデル校での教育プログラム試行



〈イメージ〉自ら学ぶ力をはぐくむ授業

2. 学校ICT環境の整備 (R4・2月補正予算案 222,536千円)

(1) 県立学校ネットワーク強靱化

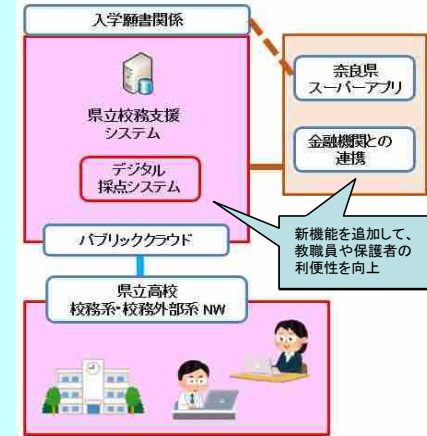
- ③県立学校教員用端末の更新
- ④県立学校で採用する校務支援システムの更新
- ⑤文部科学省が示す新しいセキュリティ基準に沿ったネットワークシステムの構築



校内ネットワークを活用した授業



教員用端末を用いた授業準備



〈イメージ〉県立学校ネットワーク

3. 児童生徒への情報教育の充実 (6,727千円、R4・2月補正予算案 23,606千円)

- (1) 県立国際中学校の生徒用端末を配備(6,727千円)
- (2) 「情報」の学習環境を県立高校に整備 (R4・2月補正予算案 23,606千円)

5. 教員の資質向上と支援 (1,780千円、R4・2月補正予算案 123,829千円)

- (1) GIGAスクール運営支援センター整備 (R4・2月補正予算案 123,829千円)
- ⑥県立学校・市町村立学校向けヘルプデスクの設置・運営
- (2) 教育情報化推進 (1,780千円)
- ⑦市町村の校務支援システム導入を支援
- ⑧情報推進リーダー研修

4. ICTを活用した授業の支援 (139,436千円)

(1) 県立学校に電子黒板を整備



タブレット端末等を用いた授業風景



電子黒板を用いた授業風景

〈問い合わせ先〉

教育委員会 教育研究所 教育情報化推進部
藪田部長(0744-33-8907)

VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興 (72) 第2期奈良県教育振興大綱の推進

R5 予算案 4,235千円

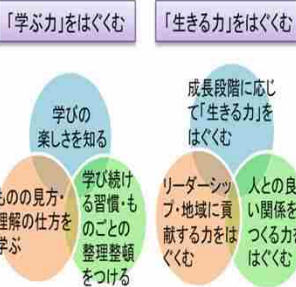
ここまで良くなりました

県の教育の振興に関する総合的な施策の大綱を定めた、「第2期奈良県教育振興大綱」(令和3年3月策定)を推進しています。

奈良県教育が目指す方向性を「本人のための教育」とし、一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐむ本人のための教育を行います。

【教育施策の基本方針】

1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐむ
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐむ
3. 働く意欲と働く力をはぐむ
4. 地域と協働して活躍する人を育てる
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる



もっと良くするために

奈良県教育振興大綱に沿った取組を推進するため、評価指標に基づく検証を行います。

具体的な教育施策の実効性を高めるため、県と市町村が協働して教育施策を推進します。

○ 知事と教育委員会が教育施策に関する課題の共有や、解決策について協議



奈良県総合教育会議

○ 県と市町村が教育課題について情報等を共有



奈良県教育サミット

教育施策や県内学校の教育活動について、**家庭や地域社会に広く発信し、学校・家庭・地域社会の連携をより一層推進**します。

○ 教育に関わる、学校・家庭・地域社会の対話のツールとして、「奈良県教育ジャーナル」を発刊

令和5年度予算案 4百万円

1. 奈良県総合教育会議や勉強会の開催(1,462千円)

① 奈良県総合教育会議を開催

- ・ 知事と教育委員が奈良県教育振興大綱の推進について協議

② 教育関係有識者との勉強会の開催

- ・ 教育政策の研究と教育施策の進捗状況を定期的に評価



総合教育会議

2. 奈良県教育サミットの開催(1,573千円)

③ 市町村長・市町村教育長と情報共有・意見交換

(これまでの議題等)

- ・ 教育の質の向上と教員の働き方改革
- ・ ポストコロナ期の新たな学びの在り方
- ・ 通学路安全対策 など



教育サミット

3. 新 奈良県教育ジャーナルの発刊(1,200千円)

④ 教育施策や県内学校の教育活動を家庭や地域社会に広く発信



就学前教育での取組紹介
(主体性を育てる遊び)



義務教育学校での取組紹介
(1年生と9年生の交流)



学校における取組紹介
(ICTを活用したグループワーク授業)

〈問い合わせ先〉

- 1, 2 文化・教育・くらし創造部 教育振興課 池田課長補佐(内線2520)
- 3 教育委員会 高校の特色づくり推進課 尾崎課長補佐(内線5251)

VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興

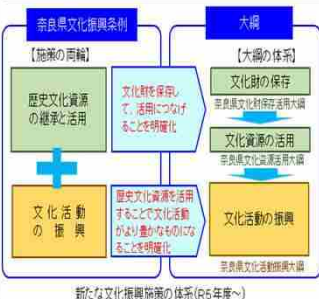
(73) 文化の振興

R5 予算案 294,727千円
債務負担行為 15,683,000千円

ここまで良くなりました

奈良県文化振興条例(令和3年4月施行)を基に、奈良県文化振興大綱の改定に取り組んできました。

令和4年2月、JNOと連携協定を締結し、本県における上質な音楽の裾野を広げる取組を展開しています。



JNO(反田恭平氏が代表を務めるジャパン・ナショナル・オーケストラ株式会社)との連携協定締結

令和3年4月「奈良県文化振興条例」制定 (「奈良県文化活動振興大綱」(令和5年3月)改定予定)

1. ムジークフェストなら2023の開催

(96,600千円)

- ①(新)四季を通じた開催
- ②社寺での公演
- ③奈良県コンベンションセンターでの公演
- ④なら歴史芸術文化村での幼児向け公演



第10回記念公演

2. JNO等と連携した取組の本格展開

(21,450千円)

- ⑤JNOの演奏家による県内小中学校・高校・(新)大学での演奏指導
- ⑥(新)奈良の社寺、自然とクラシック音楽を融合した動画を撮影・配信
- ⑦(新)年末コンサート



JNOとの連携協定

3. こどもを音楽で育てる取組の推進

(17,937千円)

- ⑧特別支援学校を対象としたコンサート
- ⑨ヴァイオリン等を活用した幼児向け音楽プログラム
- ⑩県立ジュニアオーケストラ



こどもを音楽で育てる演奏会

4. 文化会館のリニューアル(12,786千円、

R6～8債務負担行為15,683,000千円)

- ⑪奈良県文化会館を音楽を軸とした舞台芸術の殿堂として再整備(令和8年度中のオープンを目指す)



<イメージ>文化会館整備

もっと良くするために

「音楽の都」奈良県～四季を問わず、まち中が音楽で溢れる奈良県～を目指します。

○四季を通じたムジークフェストなら ○JNO等と連携した取組の本格展開



第10回記念公演の様子 未来の演奏家の育成 音楽を活用した奈良の魅力発信 年末コンサート

○こどもを音楽で育てる取組

○文化会館のリニューアル



こどもを音楽で育てる演奏会 ヴァイオリン等を活用した音楽プログラム 県立ジュニアオーケストラ 文化会館整備のイメージ

奈良県文化活動振興大綱(令和5年3月改定予定)等に基づき、文化振興を進めます。



美術館開館50周年記念特別展 奈良県みんなでのしむ大芸術祭 文化活動継続への支援

令和5年度予算案 295百万円 [債務負担行為 15,683百万円]

5. 奈良県みんなでのしむ大芸術祭の開催

(64,176千円)

- ⑫地域・社寺との連携イベント
- ⑬ドライブインシアター
- ⑭ユースシネマプロジェクト
- ⑮国際音楽交歓コンサート



<イメージ>パンフレット

6. 県立美術館展覧会の開催と(新)美術館開館50周年記念特別展の開催

(77,578千円)

- ⑯特別展(春)「田中一光展」(仮称) (4/22～6/11)
- ⑰企画展(夏)「富本憲吉展」(仮称) (7/8～9/3)
- ⑱特別展(冬)「不染鉄展」(仮称) (1/13～3/10)
- ⑲(新)新たなギャラリーを活用した展示
- ⑳(新)美術館開館50周年記念特別展「仮面芸能の系譜ー仮面芸能のふるさと奈良ー」(9/30～11/12)



<イメージ>展示品

7. 文化活動継続への支援

(4,200千円)

- ㉑(新)文化芸術活動継続支援補助金
奈良県文化会館の休止期間中に県内会場で実施する芸術文化活動を支援

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 文化振興課
①～④、⑩、⑫～⑮ 古谷課長補佐(内線2491)
⑤～⑨、⑪、⑬～⑲、㉑ 元根課長補佐(内線2152)

VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興 (74) 文化観光推進・歴史追体験 なら記紀・万葉プロジェクトの継続展開

R5 予算案 123,730千円

ここまで良くなりました

日本博のスキームを通して、奈良県の歴史文化資源の魅力を全国に発信し、良質な誘客、周遊を推進してきました。

歴史的な記念年等に合わせ歴史文化資源活用の主要テーマを設定し、多彩な事業展開により、多くの方に「記紀・万葉」になじみを持っていただきました。

〇古代の都再現・復元プロジェクト
・秋季特別展「宮廷苑池の誕生」講演会
・発掘調査映像公開

〇これまでの主要テーマ
2012年 古事記完成 1300年
2020年 日本書紀完成 1300年
藤原不比等没後 1300年
2021年 聖徳太子没後1400年
2022年 壬申の乱 1350年

2019年に欧州、2022年に中国清華大学にて展覧会を開催し、奈良の歴史文化の魅力海外に発信しました。

〇これまでの主な事業
・講演会
・ウォークイベント
・冊子制作



もっと良くなるために

「文化資源活用大綱」に基づき、奈良県の歴史文化資源の活用を推進します。

〇有識者の意見を基に、県内外をはじめ、国外の方にも「歴史文化資源」の本質的価値が分かるストーリーを発信

「奈良」を辿り、「日本」を知るをテーマに、本県が持つ歴史文化資源の魅力発信し、誘客、周遊を促進します。

歴史文化資源との対話を通じ、歴史文化、その成立過程や時代背景などを、幅広く考えて感じていただく取組を充実していきます。

〇講演会や体験イベントの開催
〇映像制作、発掘現場公開

R5年以降の歴史テーマ
2023年 天武・持統天皇とその時代(天武天皇即位1350年)
2024年 天武・持統天皇とその時代(藤原京遷都1330年)
2025年 「飛鳥・藤原」世界遺産登録

海外での次期展覧会の開催に向け、歴史文化資源の国際展開の検討を進めます。

天武・持統天皇とその時代事業を展開します。

〇中国清華大学との交換展(奈良県内開催)等の検討

〇歴史テーマを題材に、講演会やイベントを開催
〇SNSやHPを活用した広報

文化施設を活用し、文化観光を推進します。

落語で見る壬申の乱

〇県全域で文化観光拠点施設や世界遺産等を活用した事業を展開し、地域活性化を推進

令和5年度予算案 124百万円

1. 「奈良県文化資源活用大綱」に基づく歴史文化資源の活用推進(6,000千円)

① 有識者の意見を基にした、「歴史文化資源」の本質的価値がわかるストーリーの発信

2. 「奈良県地域計画(いかす・なら地域計画)」に基づく地域活性化に資する文化観光推進(97,568千円)

(1) 日本博事業への参加 (60,000千円)

テーマ 国家成立の原点“奈良”を辿り“日本”を知るプロジェクト+発掘現場・修理現場の公開



- ② 日本国家の礎 天武天皇ゆかり地連携プロジェクト
- ③ 天武・持統天皇をテーマとする映像制作及び上映会等の開催
- ④ 発掘現場・修理現場の公開 ほか



富本銭づくり体験

(2) 文化施設を活用した文化観光の推進 (37,568千円)

- ⑤ 県内世界遺産等のAR・VR映像コンテンツ制作
- ⑥ 万葉百科データベース(万葉文化館)
- ⑦ 古民家活用VRコンテンツ制作(民俗博物館)
- ⑧ デジタルミュージアム(檀原考古学研究所附属博物館)

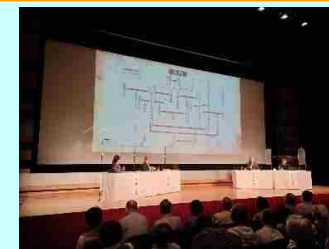


高松塚古墳 体験型VRコンテンツ

3. なら記紀・万葉プロジェクト等の継続的な展開(16,162千円)

(1) なら記紀・万葉プロジェクトの推進等

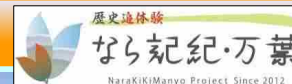
- ⑨ (新)天武・持統天皇とその時代(天武天皇即位1350年)を主要テーマとする講演会の開催、HPの作成、SNS等による情報発信、ノベルティの制作
- ⑩ 奈良大学と共催する全国高校生歴史フォーラム



壬申の乱1350年講演会



壬申の乱1350年ウォークイベント



4. 欧州・中国での開催ノウハウを活かし、奈良の歴史文化を発信する、新たな展覧会を実現(4,000千円)

(1) 次期展覧会の開催に向けた検討

⑪ 中国清華大学との交換展(奈良県内開催)、海外での展覧会等の検討



「日中交流二千年 アジアをつなぐ美と精神」展(清華大学芸術博物館)

〈問い合わせ先〉 文化・教育・くらし創造部 ①～④⑨ 文化資源活用課 金澤課長補佐(内線2530)
⑤～⑧⑩⑪ 文化資源活用課 通山課長補佐(内線2507)

VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興 (75) 文化財の保存と活用

R5 予算案 767,835千円
債務負担行為 5,000千円
R4・2月補正予算案 27,140千円

ここまで良くなりました

「奈良県文化財保存活用大綱」に基づき、文化財の保存と活用の取組を進めました。

- 国指定及び県指定文化財等の保存、修理、買収等に関する補助
- 史跡太安萬侶墓の整備に向けた保存活用計画策定 (R5年3月予定)
- 各府県に伝承されている民俗芸能を広く公開する「第64回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会」を開催 (R4年12月)



第64回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

「奈良県文化財防火対策推進条例」に基づき、文化財防災の取組を進めました。

- 防犯・防火・防災関係者連絡会議 (R4年8月)
- 防災施設等の整備や防災設備の点検等に対する補助



もっと良くするために

文化財の保存と活用の取組を推進します。

- 国指定及び県指定文化財等の保存、修理、買収等の補助



国宝東大寺二月堂

- 登大路瓦窯跡を公開し活用していくための整備基本計画の策定



登大路瓦窯跡 (上から撮影)

登大路瓦窯跡

- 国指定及び県指定文化財に関するデータベースの作成

未指定文化財の調査を推進します。

- 文化財の指定に向けた大型彫刻の調査
- 県内の古文書の所在と内容を把握するための調査



古文書の調査

文化財防災の取組を推進します。

- 文化財防災対策の構築



文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議

- 防災施設等整備、防災設備点検等への支援

令和5年度予算案 768百万円 (債務負担行為5百万円)
令和4年度2月補正予算案 27百万円

文化財保存活用大綱に基づく文化財保存活用

(1) 国指定文化財等の保存、修理、買収等に関する補助 (437,012千円、R4・2月補正予算案22,140千円)

- ① 指定文化財 (建造物、美術工芸品、民俗文化財、史跡、天然記念物、埋蔵文化財等) について、適切な修理・保存を実施
- ② 修復を行う指定文化財の一部について、なら歴史芸術文化村において修復過程を公開
- ③ 防災施設等整備・防災設備点検等の実施

(2) 建造物 (7,802千円)

- ④ 人材育成講座の開催
- ⑤ 建造物関係アーカイブ化



修理現場見学バスツアー

(3) 美術工芸品 (9,087千円)

- ⑥ 古文書講座の開催
- ⑦ **新** 大型彫刻の調査
- ⑧ **新** 古文書の調査



古文書調査

(4) 民俗文化財・無形文化財 (2,239千円)

- ⑨ 無形民俗文化財の撮影・普及



龍口の獅子舞

(5) 天然記念物 (728千円)

- ⑩ 奈良の記念物講座の開催



特別天然記念物オオサンショウウオ

(6) 史跡 (308,070千円、債務負担行為5,000千円)

- ⑪ 飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑池の整備
- ⑫ 高取城跡の整備
- ⑬ 太安萬侶墓の整備
- ⑭ 桜井茶臼山古墳の整備、公有化
- ⑮ **新** 登大路瓦窯跡の整備



登大路瓦窯跡

(7) その他 (2,897千円、R4・2月補正予算案5,000千円)

- ⑯ 既存資料のデータベース化により研究作業を効率化
- ⑰ 文化財防災対策の構築



国宝興福寺五重塔

〈問い合わせ先〉

- ①～⑦文化・教育・くらし創造部 文化財保存課 守屋課長補佐 (内線5332)
- ⑧～⑰地域デザイン推進局 公園緑地課 常盤課長補佐 (内線4307)

VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興 (76) 飛鳥・藤原の世界遺産登録

R5 予算案 124,006千円

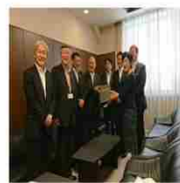
ここまで良くなりました

平成19年に「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」が世界遺産暫定一覧表に記載されました。

○世界遺産登録に向けて必要な資産価値の証明、保護措置の整備、普及啓発活動などを推進

推薦書(素案)の提出

- ・R2年、R3年に引き続き、R4年6月に文化庁へ推薦書(素案)を提出
- ・文化審議会世界文化遺産部会での審議、課題の提示を受け、推薦書(素案)をブラッシュアップ



文化庁へ推薦書素案提出

普及啓発活動の取組

- 世界遺産としての価値の理解促進、登録への機運醸成
- ・首都圏、県内などで講演会を開催
- ・世界遺産ジャーナルの発行



東京でのフォーラム開催



もっと良くするために

「飛鳥・藤原」の本質的価値をストーリーとしてまとめ、令和7年の世界遺産登録を目指します。

推薦・登録の準備	登録に向けた普及啓発の継続
<ul style="list-style-type: none"> ・国内推薦決定を目指し、R5年3月に推薦書(素案)を提出 ・正式推薦に必要な推薦書の修正、さらなる資産の保護、課題の解決 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内外でのさらなる機運醸成 ・橿原市・桜井市・明日香村と連携し、首都圏および県内で普及啓発のイベントなどを開催 ・世界遺産ジャーナルを引き続き発行 ・「飛鳥・藤原」の価値をストーリーとしてまとめ、映像で分かりやすく配信
構成資産の整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・主要構成資産である飛鳥宮跡の暫定整備 ・飛鳥宮跡と飛鳥京跡苑池の発掘調査、史跡・景観整備 	<p>映像での普及啓発</p>

登録までの最短スケジュール

- R5年12月 国内推薦決定
- R6年2月 推薦書をユネスコへ提出
- R6年9月 イコモス現地調査
- R7年5月 イコモス勧告
- R7年7月 登録審議・登録



飛鳥宮跡 飛鳥京跡苑池

令和5年度予算案 124百万円

1. 「飛鳥・藤原」の世界遺産登録の推進(12,540千円)

(1) 世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会(県・橿原市・桜井市・明日香村)での取組

- ① 推薦書素案等の提出書類準備
- ② 国内外の専門家等との会議、意見聴取
- ③ 文化庁等関係機関との調整



国内専門家会議

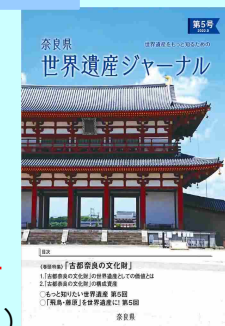


現地視察

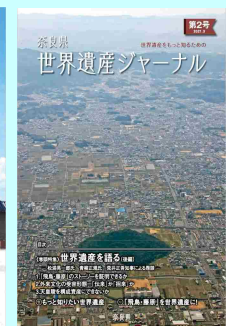
2. 世界遺産と「飛鳥・藤原」の価値を発信(6,472千円)

(1) 世界遺産ジャーナルの発行(1,980千円)

- ④ 「飛鳥・藤原」とともに県内既登録3資産と世界遺産の仕組みを紹介



世界遺産ジャーナル



啓発イベントのイメージ

(2) 世界遺産登録に向けた啓発(4,492千円)

- ⑤ 世界遺産を目指す「飛鳥・藤原」の価値を県外へ発信
- ⑥ GOODLIFEフェア(東京)への出展(R5. 9月(予定))

3. 県管理資産の説明力向上(104,994千円)

(1) 飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑池の整備・活用

- ⑦ 飛鳥宮跡を整備し、史跡を視覚化
- ⑧ 飛鳥宮跡内郭の全体像を明らかにする発掘調査と成果の発信



整備イメージ(柱による遺構表示)



令和7年の世界遺産登録を目標に事業を推進

〈問い合わせ先〉 文化・教育・くらし創造部 文化資源活用課 通山課長補佐(内線2507)

VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興 (77) なら歴史芸術文化村の活用

R5 予算案 717,742千円

ここまで良くなってきました

なら歴史芸術文化村は、令和4年3月の開村以来、歴史・芸術分野の体験プログラム等が好評であることに加え、「道の駅」のにぎわい等により、連日、多くの方に来訪いただいています。



もっと良くなるために

歴史文化資源を活用した対話重視の体験や、こども達の自尊心、利他心を養うことにつながる創作活動の場となるような取組を積極的に展開します。また、文化村を核としたにぎわいが広く波及するよう、周辺地域を一体として捉えた取組を展開します。

○歴史文化資源の継承と活用

・文化財修復作業の公開・解説



文化財の修復作業

学芸員による解説ツアー

・文化財に親しむための企画展、体験プログラムの実施（仏像制作体験、企業との連携による体験コーナー）



体験プログラム

○芸術文化活動の振興

・幼児向けアート・音楽プログラムの展開



こども参加型音楽コンサート

・幼児向けアートプログラムの地域展開のための人材育成

・「NARA」をテーマにしたアート表現を世界から募集・発信



アート作品の展示

・文化村スタッフとアーティストの協働による作品の制作・展示

地域のにぎわいと活力を創出する施設となるよう、なら歴史芸術文化村の活用を図るとともに、来村者の声に耳を傾け、おもてなしの向上を図ります。

○にぎわいの創出とおもてなしの向上

・観光・産業等の分野との連携



食と農の情報発信セミナー

・にぎわいイベントの開催



駐車場を活用したイベント開催

・おもてなしの向上



植栽による彩り空間創出のイメージ

令和5年度予算案 718百万円

1. 歴史文化資源の継承及び活用

(171,251千円)

- ①文化財修復作業の公開・解説
- ②文化財の企画展、体験プログラム
 - ⑨ 仏像制作体験、企業と連携した体験コーナー
- ③公開・解説を行う県指定文化財に対する補助
- ④修復対象文化財のビフォーアフターの記録映像
- ⑤文化財の細部の構造等を観察できるVR映像等を制作



体験プログラムの様子

2. 芸術文化活動の振興 (56,785千円)

- ⑥幼児向けアート・音楽プログラム
- ⑦ ⑨ 幼児向けアートプログラムの地域展開・人材育成
- ⑧ ⑨ 「NARA」をテーマにした芸術作品を世界から募集・発信
- ⑨ ⑨ 文化村スタッフとアーティストの協働による作品の制作・展示
- ⑩アーティスト主催ワークショップ
- ⑪能楽体験教室
- ⑫ムジークフェストなら



こども参加型音楽コンサート

3. にぎわいの創出とおもてなしの向上 (489,706千円)

- ⑬食と農の情報発信、セミナー・フェア
- ⑭伝統工芸ワークショップ
- ⑮奥大和地域の特産品を活用したワークショップ
- ⑯こども食堂との連携
- ⑰駐車場を活用したにぎわいイベント
- ⑱ ⑲ 植栽等によるおもてなし環境の整備
- ⑲ ⑲ 来村者のためのベンチ等の整備
- ⑲農産物の直売、レストラン等
- ⑳アクセスバス運行



伝統工芸ワークショップ



<イメージ>おもてなし環境の整備

〈問い合わせ先〉
文化・教育・くらし創造部 文化振興課 元根課長補佐(内線2152)

VI 智恵の「都」をつくる 20 海外との交流展開 (78) 国際交流の強化・拡大と東アジア地方政府会合の充実発展

R5 予算案 119,451千円

ここまで良くなりました

お互いに学び合う姿勢で国際交流を続けてきています。

○多くの海外地方政府と友好提携を締結

中国・陝西省(H23年9月)、韓国・忠清南道(H23年10月)、スイス・ベルン州(H27年4月)、ウズベキスタン・サマルカンド州(R3年12月)



サマルカンド州との協定書署名式 (R3年12月) スイス・リース林業教育センターとの交流 (R4年10月)

○中国・清華大学と賞書を締結(R元年8月)、NAFICとスペイン・バスク州の料理専門大学BCCと連携協定を締結(R4年12月)



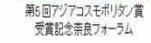
清華大学芸術博物館における展覧会 (R4年9月～12月)

東アジア地方政府会合を2010年に設立し、地方政府が共通する課題について、学び合い、交流を深めてきました。

○会員は設立時の6カ国40地方政府から7カ国75地方政府に増加
○第11回会合をインドネシア・西ジャワ州で開催、第12回は中国・山東省臨沂市での開催が決定



第11回東アジア地方政府会合 (インドネシア・西ジャワ州開催)



第5回アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム

もっと良くするために

奈良県の国際交流の強化・拡大を図ります。

○友好提携地方政府への訪問団等の派遣

<派遣先>
ウズベキスタン・サマルカンド州
スイス・ベルン州
韓国・忠清南道(「大百済典」への参加等)

○友好提携地方政府からの訪問団を受入

○中国・清華大学との交流

・専門家及び学生等の交流を実施
・交換展(奈良県内開催)の実施を検討

○海外地方政府との新たな友好提携推進

○奈良県フォレストアカデミーの学生がスイスの森林管理を学ぶため、リース林業教育センターと交流事業を実施

○NAFICとBCC(バスクカリナリーセンター)との連携協定に基づき、交流事業を実施

東アジア地方政府会合の充実発展を図るとともに、アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム等の開催に向けて取り組みます。

○中国・山東省臨沂市で開催される第12回東アジア地方政府会合へ奈良県代表団を派遣



○会員地方政府主催の分科会の開催を支援

○アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラムの開催に向けた準備

○日本アスペン研究所と連携し、NAFIC附属セミナーハウスでのセミナー開催を支援

令和5年度予算案 119百万円

1. 友好提携地方政府等への訪問団の派遣・受入等 (28,418千円)

- ①ウズベキスタン・サマルカンド州、スイス・ベルン州に訪問団を派遣
- ② **新** 韓国・忠清南道で開催される大百済典へ参加
- ③韓国・忠清南道へ奈良県青年を派遣
- ④中国・陝西省やウズベキスタン・サマルカンド州から、代表団や学生などの訪問団を受入



ウズベキスタン・サマルカンド州との友好提携締結

3. スイス・リース林業教育センターとの交流 (24,614千円)

- ⑦奈良県フォレストアカデミーの授業として、リース校でスイスの森林環境管理を学習
- ⑧リース校から実習生受け入れ
- ⑨アカデミー名誉校長(リース元校長)からのアドバイス等



リース林業教育センターとの連携協定締結

5. 第12回東アジア地方政府会合等の開催 (33,509千円)

- ⑪中国山東省・臨沂市で開催される第12回会合へ奈良県代表団を派遣
- ⑫会員地方政府主催の分科会の開催を支援
- ⑬アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラムの開催に向けた準備
- ⑭日本アスペン研究所と連携し、NAFIC附属セミナーハウスでのセミナー開催を支援

りんぎ



臨沂市との合意覚書締結

<問い合わせ先>

- 1、2 知事室 国際課 伊豆藏課長補佐(内線2151)
5 野村課長補佐(内線2536)
- 3 水循環・森林・景観環境部 森と人の共生推進課 西課長補佐(内線3942)
- 4 食と農の振興部 豊かな食と農の振興課 福永課長補佐(内線3818)

2. 中国・清華大学との交流 (25,379千円)

- ⑤専門家及び学生等の交流を実施
- ⑥中国・清華大学との交換展(奈良県内開催)の実施を検討



清華大学芸術博物館 展覧会 (R4.9.24-12.4開催)

4. NAFICとBCCとの連携推進 (7,531千円)

- ⑩世界的に著名なスペインの料理専門大学BCC(バスクカリナリーセンター)講師の特別講義等



BCCとの連携協定締結